

チャレンジ！！オープンガバナンス 2024 市民／学生応募用紙

自治体提示の地域課題名(注1)	No.5	自治体提示の地域課題名	自治体名
		裾野高校の魅力を向上し、選ばれる高校へ。	裾野市
チームがつけたアイデア名(公開)(注2)	裾野高校の生徒数を増やす。		

(注1) 地域課題名は、COG2024 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題名を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。これは自治体提示の地域課題名とは別です。

1. 応募者情報 下の欄のうち選択肢項目は右のドロップダウンで選んでください

チーム名(公開)	20(twenty)		
チーム属性(公開)	1. 市民、2. 市民／学生混成、3. 学生 ドロップダウン選択一		2.学生
チームメンバー数(公開)	4 名		
代表者(公開)	高橋宏司		
メンバー(公開)	杉澤健晃、牧原奈々、中村月陽		

【注意書き】※ 必ず応募前にお読みください。

＜応募の際のファイル名と送付先＞

1. 応募の際は、ファイル名を COG2024_応募用紙_具体的チーム名_該当自治体名にして、COG2024 のウェブサイトにある【応募フォーム】からアップロードしてください。

＜応募内容の公開＞

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者および公開に同意したメンバー氏名([メンバー一覧ページ](#)を参照)、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について:
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY(表示)4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC(表示—非営利)4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。
(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja> および <https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)
4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公開しません)
5. この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。ただし、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。

＜知的所有権等の取扱い＞

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

アイデアの説明が肖像権・著作権等を侵害していないことを確認してください。OKなら右欄の○を選択 ➡ OK

＜チームメンバー名簿:[メンバー一覧ページ](#)＞

チームメンバーに関する情報を該当ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

アイデアの説明は(1)アイデアの内容(活動)、(2)アイデアの理由(なぜなら)、(3)実現までの流れ、の三項目あります。それぞれ書いてください。必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

(1) アイデアの内容(公開)

アイデアは、対象とする課題解決のために、どのような社会的活動(サービス)を行うのかを具体的に示してください。

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容（公開）

将来実現した場合に、**新規性があり、実践したくなり、魅力的でわくわくするようなアイデア**を求めます。その結果、**課題が解決され、社会に良い変化をもたらすことが期待されます**。**2 ページ以内**でご記入ください。

※応募チームとして**解決したい課題のポイント**を、以下にごく短く書いてください

＜解決したい課題のポイント＞

裾野高等学校の生徒を増やす

労働年齢を下げ、少子高齢化をなくす。

※以上の課題解決のために『**何**』をする**アイデア**か、それを『**だれ**』が『**だれ**』に対して『**いつ**』『**どこで**』『**どのように**』行うのか、受益者自身が主体的に関わる視点も視野に入れてわかりやすく書いてください。アイデアが具体的に実行される場面を想定し、説明をお願いします。

（参考）よいアイデアを生むには関連データの分析に加えてデザイン思考によるアイデアを利用する人への共感（使う人の立場になってみること）が大切です。

＜提案するアイデアの内容＞

アイデア

裾野高校の生徒数を増やす

誰が誰に対して

裾野高校の生徒が、進路を考えている中学生に向けて

いつ

金曜日の5・6時間目のキャリアチャレンジの時間

どこで

実際に中学校にいく、裾野高校のオープンスクール

どのように

実際に中学校に行き裾野高校についての情報を伝え、アンケートを取る（発表前後の印象）

裾野高校のオープンスクールに来てくれた中学生に対してアンケートを取る（裾野高校について分かったこと、感じたこと）

--

2. アイデアの説明（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

次にアイデアを提案する理由（なぜ）について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ2ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類などの数値データやアンケート・インタビュー・経験の記述、関連の計画、既存の施策などの定性データも広く含みます。データは出所を明らかにしてください。

※このアイデアを提案する理由（なぜ）を書いていきます。

※先に書いた『何を』『だれが』『だれに対して』『いつ』『どこで』『どのように』というアイデアの内容を支えるために、『なぜ』このアイデアが有効で、実現する意味があるのか』を、上記のデータを使ってわかりやすく説明します。

＜参考：以下のように理由を書いていきます＞

※根拠：このアイデアがなぜ必要であるか、またはなぜ有効だと考えるのか、その筋道を説明します。

※裏付け：その根拠を支えるために、統計データや報告書、事例などを使って補強します。さらに具体的なアイデアの効果についても、何らかのデータを使うと説得力が増すでしょう。（定性データを含めて歓迎）

2. アイデアの説明（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

※根拠:このアイデアがなぜ必要であるか、またはなぜ有効だと考えるのか、その筋道を説明します。

※裏付け:その根拠を支えるために、統計データや報告書、事例などを使って補強します。さらに具体的なアイデアの効果についても、何らかのデータを使うと説得力が増すでしょう。（定性データを含めて歓迎）

裾野高校の現状

入学希望者数が減ってきている

生徒数の減少による課題

裾野市唯一の総合学科である公立高校の知名度が下がってしまう。

静岡県公式ホームページより

2024 年度

17	裾野	総合	120	127	1.06
		外国（若干名）	—	0	—
		I（30%程度）	36	16	0.44
		II（5%程度）	6	5	0.83
		III（15%程度）	18	93	5.17

2023 年度

17	裾野	総合	160	128	127	1.01	33
		外国（若干名）	—	0	0	—	
		I（30%程度）	48	15	13	1.15	
		II（5%程度）	8	4	4	1.00	
		III（15%程度）	24	95	26	3.65	

2022 年度

17	裾野	総合	160	133	131	1.02	29
		外国（若干名）	—	0	0	—	
		I（30%程度）	48	16	16	1.00	
		II（5%程度）	8	2	2	1.00	
		III（15%程度）	24	81	29	2.79	

裾野高校の生徒が増えることで裾野市が賑かになったり行事が更に盛り上がったりするなどのメリットがある。そのため、裾野高校の生徒数を増やすために実際に中学校に行ったり裾野高校のオープンスクールに来た中学生に対してアンケートをとりその対策を考えたりした。

2. アイデアの説明（公開）

(3) アイデア実現までの流れ（公開）

(3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを実現する主体、アイデアの実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの実現にいたる時間軸を含むプロセス、実現の制度的制約がある場合にはその解決策を含め、アイデア実現までの大まかな流れについて、2 ページ以内でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

※アイデアに即した実現に向けての具体的な活動を上記のポイントに即して工夫して書いていきます

＜以下のように分けて書いていきます＞

1. 実現する主体
2. 実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）の大まかな規模とその現実的な調達方法
3. 実現にいたる時間軸を含むプロセス

1. 高校生、教員

2. ヒト・・・裾野高校のキャリアチャレンジの班員 4 人

裾野東中学校の 3 年生

モノ・・・裾野東中学校、教室

カネ・・・特になし

やってみての感想

裾野高校についての印象が分かった。

裾野高校について知ってもらって良かった。

裾野高校の強み、良いところ悪いところについて知ることができた。

意外と裾野高校について知られてなかった。

説明前と変わらないという意見があったためスライドの内容を改善したほうが良いと思った。

中学生の感想

就職率が高いことが分かった。

楽しそう。

主体性がある。

卒業後の選択肢が多くなると思った。

色んな経験ができそう。

いろんな部活がある

充実してそう

ボランティアに関してたくさんのことを行っている

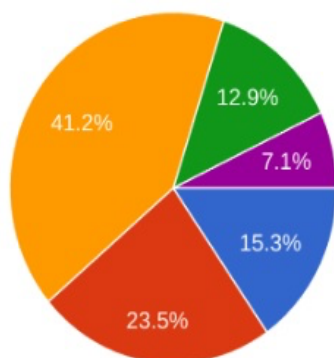
まとめ

今回の活動を通して裾野高校の事は知っているが間違った印象を持っている人が多く説明会の重要性が分かった。そこで 2 年生が全員各々の母校に行き裾野高校のことを説明しに行く説明会を企画し提案し、そこででた中学生の意見を参考にしこれからの活動に活かして行きたいと思う。

プレゼンを実施して中学生の裾野高校に対する印象を変えることができたので提案として中学生の間違ったイメージを正すため、2年生が各々の母校に出向き裾野高校の説明会を実施することを年間カリキュラムに組み込むことを提案します。

裾野高校の印象（説明会前）

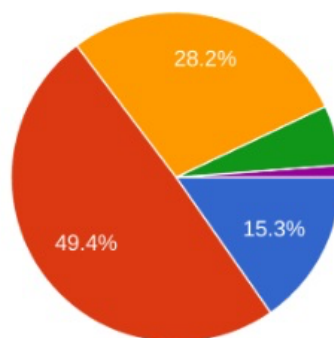
リンクされたグラフ : ✖



- とても良い
- 良い
- どちらとも言えない
- あまり良くない
- 良くない



裾野高校の印象（説明会后）



- とても良い
- 良い
- どちらとも言えない
- あまり良くない
- 良くない

